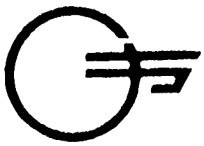


那珂郡
那珂町

面　積：83.14㎢
（平成6年10月1日現在）
人　口：45,230人
男：22,270人
女：22,960人
世帯数：13,607世帯
（平成7年9月1日現在）

町の花
ヒマワリ
町の木
スギ
町の鳥
キジ

═ 水と緑に恵まれた美しい町 ═

那珂町は，北に遠く阿武隈山系を望み，久慈川と那珂川とにはさまれた洪積層台地に位置します。昭和59年に常磐自動車道が開通し，那珂インターチェンジはひたちなか地区そして奥久慈方面への玄関口となりました。

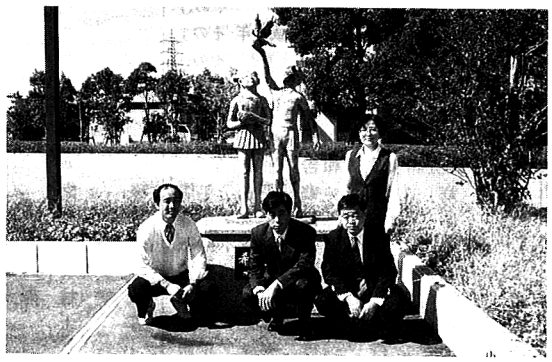
日本原子力研究所那珂研究所には世界３大トカマク（核融合炉）の一つであるＪＴ－60が稼働しており，「地上の太陽」と言われ，夢のエネルギーである核融合研究開発の拠点となっています。

那珂総合公園は，野球場，テニスコート等のスポーツ施設と歴史民族資料館等の文化施設とを併せ持ち，広く利用されています。また，町役場前の一ノ関池には毎年多くの白鳥が飛来し，町民の楽しみとなっています。

平成２年10月，アメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市と姉妹都市の締結がなされました。相互に中学生のホームステイを行い，国際的視野を持った人材の育成を図るとともに，町民間の交流をとおして国際理解も深まっております。

《那珂町企画課》

課　長　美山（びやま）哲男
課長補佐　秋山春男
係　長　川又恭子
主　任　小林幸夫



那珂町役場にて　（左より）
小林主任，美山課長，秋山課長補佐，川又係長

――企画課はどのようなところですか。

美山：心優しく，和やかでとてもよい雰囲気です。忘年会を兼ねた課内旅行はまさに無礼講，皆ハメをはずします。当然カラオケはマイクの奪い合い（笑）。また，課員にＯＢを加えたゴルフコンペも毎回大勢が参加し，親睦を深めています。

――趣味は。

美山：ソフトボール。県の大会（40歳以上の部）で２年連続優勝するなど，那珂町は強豪なんです。

秋山：釣り。今年も娘と一緒にわかさぎを釣りに行こうと計画しています。

川又：琴（生田流），30年続けています。ハイキングも好きで，県の歩け歩け協会にも参加します。

小林：盆栽と旅行。今年は家族で能登半島を旅行しました。

――好きな言葉は。

美山：「躍動」。体を動かすことが大好き。

秋山：「成せば成る。成さねば成らぬ。なにごとも成さぬは人の成さぬ也」。

川又：「憂きことのなおこの上に積もれかし　限りある身の力試さん」。

小林：「光水（こうすい）」。自分の造語なのですが，この文字と響きとが気に入っています。

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は，平成７年９月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。
行政情報センター　本庁舎地下１階　TEL 029-221-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所（者）
中央省庁関係	
日本の統計 1995	総務庁
交通安全白書 平成7年版	〃
住宅統計調査報告 平成5年 第2巻 その3	〃
〃 〃 〃 その4	〃
〃 〃 〃 その5	〃
事業所名薄整備調査報告 平成6年 その1	〃
〃 〃 その2	〃
統計情報インデックス 1995	〃
統計でみる県のすがた 1995	〃
HANDBOOK OF JAPAN 1995	〃
労働力調査特別調査報告 平成7年2月	〃
警察白書 平成7年版	警察庁
防衛白書 平成7年版	防衛庁
経済白書 平成7年版	経済企画庁
消費動向調査年報 平成6年版	〃
科学技術白書 平成7年版	科学技術庁
過疎対策の現況 平成6年度版	国土庁
土地白書 平成7年版	〃
防災基本計画 平成7年7月	〃
防災白書 平成7年版	〃
外交青書 1995 第Ⅰ部	外務省
〃 〃 第Ⅱ部	〃
簡易生命表 平成6年	厚生省
患者調査 平成5年 上巻（全国編）	〃
国民医療費 平成5年度	〃
人口動態社会経済面調査報告 平成5年度	〃
児童をとりまく世帯の状況	〃
優生保護統計報告 平成6年	〃
農家経済調査報告 平成5年度	農林水産省
茨城の作物統計 平成6年	関東農政局
冷害の記録 平成5年産水稲	〃
機械統計年報 平成6年	通商産業省
工業統計表 平成5年 産業編	〃
〃 〃 市町村編	〃
〃 〃 用地・用水編	〃
〃 〃 工業地区編	〃
商業動態統計年報 平成6年	〃
貿易業態統計表 平成6年（第42回）	〃
中小企業施策総覧 平成7年度版〈本編〉	中小企業庁
気象年鑑 1995年版	気象庁
労働白書 平成7年版	労働省
建設工事施工統計調査報告 平成5年度	建設省
建設白書 平成7年版	〃
公共工事着工統計年度報 平成6年度	〃
全国都道府県市区町村別面積調 平成6年	国土地理院
住民基本台帳人口要覧 平成7年版	自治省
茨城県関係	
宗教法人名簿，茨城県	総務課
県議会定例会議案 平成7年 第3回 ①	財政課
県議会定例会議案概要説明書 平成7年 第3回	〃
公営企業会計決算書 平成6年度	財政課
予算に関する説明書 平成7年度	〃
県税決算調書 平成6年度	税務課
茨城県の人口(町丁字別) 平成7年4月1日現在	統計課
茨城の商業	〃
老人等医療費支給制度事業状況 平成5年度	医療福祉課
福祉・保健・医療のガイドブック	医務課
保健婦助産婦看護婦の現状 平成6年度	〃
茨城の貿易概況 平成5年度	商業振興課
〃 平成6年度	〃
試験成績概要書 平成6年度	鹿島地帯特産指導所
県北の家畜衛生 平成6年度	県北家畜保健衛生所
県西の家畜衛生 平成6年度	県西家畜保健衛生所
養鶏試験場年報，茨城県 平成6年度	養鶏試験場
茨城の水産 平成7年3月	漁政課
霞ヶ浦北浦における養殖業の現状 平成6年	霞ヶ浦北浦水産事務所
水産試験場業績集，茨城県 1994	水産試験場
放流技術開発事業総括報告書 要約編	〃
〃 資料編	〃
内水面水産試験場調査研究報告 第31号	内水面水産試験場
赤潮対策技術開発試験報告書 平成6年度	〃
赤潮調査報告書 平成6年度	〃
霞ヶ浦北浦の調査研究成果の要約	〃
茨城の図書館 平成7年度	県立図書館
公営企業会計決算審査意見書 平成6年度	監査委員事務局
県内市町村関係	
日立市の統計 1995	日立市
統計きたいばらき 平成7年版	北茨城市
都道府県関係	
みやぎの雇用と賃金 平成6年	宮城県
秋田県鉱工業生産指数年報 平成6年	秋田県
群馬県の賃金・労働時間及び雇用の動き 平成6年	群馬県
毎月勤労統計調査地方調査年報 平成6年	千葉県
賃金，労働時間及び雇用の動き 平成6年	新潟県
新潟経済ノート'95	〃
毎月勤労統計調査結果報告 平成6年	山梨県
あいちの勤労 平成6年	愛知県
あいちの鉱工業動向 平成6年	〃
奈良県鉱工業生産指数 平成6年	奈良県
和歌山県鉱工業生産指数 平成6年	和歌山県
統計からみた愛媛県の地位 平成6年度版	愛媛県
市町村経済統計書 平成4年度	高知県
大分県鉱工業指数 平成6年	大分県
会社・公社・団体等関係	
地方財政統計年報 平成7年版	地方財務協会
文化協力における民族と国家	総合研究開発機構
'95 民力	朝日新聞社
茨城の商圏 1995年6月	(財)常陽産業開発センター
軽自動車車両数 市区町村別 平成7年3月末現在 No.17	(社)全国軽自動車協会
海面漁業水揚高集計表，茨城県 平成6年	水産業団体指導協会

経済動向

国内の動き

●基準地価，4年連続下落

国土庁発表の今年7月1日時点での基準地価によると，全国の地価は全用途平均で前年比2.1%下がり，4年連続の下落となった。下落率は住宅地が0.9%，商業地が6.9%。住宅地の下げ幅は3年連続で縮小したが，景気停滞の影響が強くでている商業地の下落幅は2年ぶりに広がった。国土庁は「マンション，オフィスビルとも供給過剰で，地価は都心の商業地を中心に下落傾向が続く」とみている。

住宅地の地価は都市圏を中心に下げ幅が縮小したが，商業地は地価下落に歯止めがかからない状況だ。東京，大阪，名古屋の3大都市圏の下落率は4年連続でそれぞれ10%を超し，東京や大阪の都心では下落率が30%近くに上る地域もある。（9月20日付 日経）

●新米価格，古米を下回る

コメ余りと販売不振で，95年産（新米）の自主流通米価格が前年産の古米を軒並み下回る逆転現象が起きている。9月15日現在の作況指数が102の「やや良」になるなど，先安観が一段と強まってきたことから，卸業者は新米の仕入れに二の足を踏んでいる。9月5日の第1回大阪入札では大半の銘柄で落札価格が基準価格を5%以上割り込む大幅安となった。

10月末時点での国産米在庫は170万ﾄﾝ前後（年間消費量は約1千万ﾄﾝ）に達する見通しで，これにウルグアイ・ラウンド合意による一般輸入分約40万ﾄﾝも加わる。95年産米の作柄が「やや良」となったことで新米だけで百万ﾄﾝ近くが過剰となると予想される。（9月24日付 日経）

●日本の生産性，19年ぶりに低下

民間調査研究機関である社会経済生産性本部が発表した「1993年の労働生産性の国際比較」によると，日本の生産性の伸び（前年比増減率）はマイナス0.4%となった。増減率がマイナスになるのは74年以来19年ぶり。長引く不況に加え，生産性の低い運輸・通信業などの構造改善が進まなかったことが原因である。この結果，先進国（12ヶ国）のなかで2年連続して日本の増減率は最低となり，生産性の順位は前年の9位から10位に下がった。これは日本の競争力が一段と衰えてきたことを裏付けている。生産性本部は「低生産性分野はいずれも価格・料金規制や保護政策を受けている。日本の生産性を再び向上させるには規制緩和が不可欠だ」と主張している。（9月22日付 日経）

県内の動き

●北関東自動車道，水戸―友部間で着工

日本道路公団は北関東自動車道の水戸―友部間で本格的な本線工事に着手することを決め，10月に同区間内の茨城町で起工式を行う。茨城，栃木，群馬三県を結ぶ北関東自動車道はそれぞれの県内で一部区間に施行命令がでて買収作業を進めているが，茨城県内の買収が順調なことから，3県のなかで最初に着工することになった。

北関東自動車道は東京の都心から100―150㌔圏をリング状に連絡する「関東大環状」の一部を構成し，北関東地域にとっては初めての地域連携軸となる。同道路はすでに建設の進んでいる東水戸道路や，常陸那珂有料道路と連結し，大型流通港湾として整備される常陸那珂港ともつながる。水戸―高崎の全線が開通するにはあと15年くらいはかかるといわれている。

（9月27日付 日経）

●週40時間労働，実施は4割強

1997年度から全面実施される，週40時間の法定労働時間制をクリアしている県内事業所は4割強。2年前に比べると倍増したが，改善ペースは鈍っていることが茨城県労働基準局の労働時間制度調査でわかった。達成率が低い運輸交通業や建設業などの特定業種は伸びも鈍り，従業員30人以下の中小事業場は資金力などで余裕がないため遅れているとみられる。

週40時間の達成状況を見ると，大規模事業所では割合が高い。一方，10人以上30人以下で42.5%，10人未満では35.2%にとどまっている。業種別では，官公庁や水産畜産業で9割以上が週40時間を達成。反面運輸交通業は14.1%，建設業は17.2%と低いレベル。（9月29日付 茨城）